

とやまのたから  2022

# 南砺 NANTO × 富山 TOYAMA × 南砺 NANTO

「城端の庵唄」

「八尾おわら節」

「越中五箇山民謡」

画像提供：富山市観光協会



守  
り  
た  
い  
人  
の  
絆

伝  
え  
た  
い  
人  
の  
心

『まち』と共に生き  
『まち』と共に受け継がれてきた唄や踊り  
“心意気”と共に今、未来へつなぐ

『とやまのたから』は、富山県公立文化施設協議会と共同で開催する「ふるさと富山推進事業」で、富山県の貴重な文化遺産を県内外に広く紹介する公演です。南砺市城端・五箇山地域と富山市八尾で古くから大切に受け継がれてきた日本の宝「城端の庵唄」、富山の3大民謡「八尾おわら節、麦屋節、こきりこ」等です。

## 内容

披露 「城端の庵唄」、「八尾おわら節」、「越中五箇山民謡」

その他、映像での地域や祭の紹介  
ロビーにて地域の紹介ブース

出演／城端庵唄保存会・八尾おわら保存会・富山県立南砺平高等学校郷土芸能部 司会／下澤弥生

城端今町通り

2022年 **10月16日[日]** 14:00開演 13:30開場

**南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座**

**全席自由 500円** [高校生以下無料] ●未就学児の入場はご遠慮願います。

■プレイガイド／南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座、南砺市井波総合文化センター、福野文化創造センターヘリオスアーツナビ（富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール）

主催／南砺市城端伝統芸能会館（指定管理者オカベ・ホクタテ共同体）

後援／富山県、富山県公立文化施設協議会、南砺市、北日本新聞社、FMとなみ、となみ衛星通信テレビ、南砺市観光協会

<https://johanaza.jp/>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い

●「マスク着用」「咳エチケット」にご協力ください。●手洗い、手指の消毒をお願いいたします。●咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。●感染拡大防止のため、公演中止・内容変更になる場合があります。

とやまのたから 2022

南砺 NANTO

富山 TOYAMA

南砺 NANTO

「城端の庵唄」

「八尾おわら節」

「越中五箇山民謡」

3つの「まち」で唄い、踊り継がれてきた

南砺市城端の「庵唄」、富山市八尾町の「おわら節」、五箇山地区の「民謡」。

これらは「まち」の、「とやま」の“たからもの”です。

それらを育み守ってきたのは、そこに暮らす人々の、子や孫に「まち」の継承と繁栄を託す心です。

今もその“たから”は地域に息づき、人々に大きな輝きを与えています。

富山の誇るべき“たから”を、これまで大切に受け継ぎ、次世代に繋いでいく“人々の想い”を感じてください。

相倉合掌造り集落

八尾諏訪町本通り  
画像提供：富山市観光協会

## 城端の庵唄

情緒豊かに典雅な音律をつづる曳山祭の庵唄、城端庵唄保存会は、昭和56年に発足し、上方端唄・江戸端唄を源流とし、今に伝わる曲が32曲、お囃子が11曲を継承し毎年「じょうはな座定期公演」で披露しています。

城端の先人達の粋な遊び心から生まれた文化が、現在まで約200年受け継がれており、篠笛・三味線・太鼓が織りなす哀愁を帯びた調べは、毎年各町で選定され、若連中の囃子方・唄方らが、京都祇園の一方茶屋や江戸吉原の料亭を模した庵屋台の中で演奏します。

庵唄は、年明けからの寒稽古に始まり、4月の本稽古へと修練を重ね、5月4日の宵祭、5日の曳山祭で披露されます。

定期公演



## 八尾おわら節

「八尾おわら節」の町練りは、江戸元禄年間(1702頃)から始まり、300年以上の歴史の中で連綿と受け継がれ、町民のおわら愛する心と音律の哀調、踊りの優艶さ、歌詞が織りなす感情の繊細さが今も人々の心を惹きつけます。9月1日は、立春から二百十日目に当たり、台風シーズン到来と重なる風の災厄日とされてきました。

豊作を祈るとともに、風の災害が起こらないことを願う行事として「風の盆」という呼び名が付けられたと言われてます。昭和4年、川崎順二初代会長を中心に「八尾おわら保存会」が設立され、本年で93年を迎えました。いまや全国屈指の民謡行事となった「おわら風の盆」。毎年9月1日から3日にかけてそらいの法被や浴衣姿に編み笠をつけた踊り手が、三味線と胡弓の地方にあわせて踊り、町中を流し歩きます。

おわら保存会本部による観光会館ステージ踊り



## 越中五箇山民謡

富山県立南砺平高等学校は、世界遺産・合掌造り集落のある越中五箇山にあり、2020年に創立70周年を迎えました。全校生徒は80名に満たない小さな学校ですが、スキー部や郷土芸能部をはじめ、多くの生徒が全国の舞台で活躍し、一人一人が大きく輝いている学校です。

郷土芸能部は、地元五箇山地域に伝わる民謡を学び、伝承することを目的に、平成元年に創部されました。普段は福祉施設や地域のお祭りに出演して、越中五箇山民謡の魅力を各地に発信しています。また、全国高等学校総合文化祭には平成6年度から出場しており、入賞回数は全国一となっています。本年8月の東京大会で、8年ぶり3度目の最優秀賞・文部科学大臣賞に選ばれ同月国立劇場で披露してきました。

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会

